

令和5年度

公立大学法人会津大学の業務の実績に関する評価結果

令和6年9月

福島県公立大学法人評価委員会

# 公立大学法人会津大学の令和5年度業務の実績に関する評価結果（年度評価）

## 第1 「全体評価」

第3期中期目標期間の6年度目(最終年度)となる令和5年度の業務実績について、公立大学法人会津大学(以下「法人」という。)による自己評価は次のとおりである。

全項目（179項目）

「A：年度計画を上回って実施している」	54項目（30.2%）
「B：年度計画を予定どおりに実施している」	120項目（67.0%）
「C：年度計画を下回って実施している」	4項目（2.2%）
「D：年度計画を大幅に下回って実施している」	1項目（0.6%）

法人は、第3期中期目標の達成に向けて、教育、研究、国際化、地域貢献及び復興創生支援等に積極的に取り組み、成果を出している。特に、「東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興や地方創生に寄与するための取組」、「福島国際研究教育機構(以下「F-REI」という。)との連携を含む研究に係る取組」は高く評価できる。

### 1 会津大学

会津大学(以下「四大」という。)は、コンピュータ理工学の分野において国内外で活躍できる優秀な研究者及び技術者の育成はもとより、起業家精神を持つ人材の育成にも努めている。さらに、留学生の受入れや文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業等による国際化にも積極的に取り組んでいる。

また、福島ロボットテストフィールドを拠点に実施している浜通り地域におけるロボット産業への産学官連携、県立医科大学との連携による県民健康調査への協力、先端ICT技術に携わる人材育成事業、大学発ベンチャー企業の創出等、新たな産業の創出及び雇用の拡大のために積極的に取り組んでおり、本県の復興と地方創生に貢献していることについて高く評価できる。

さらに、F-REIと協力連携に関する基本合意書を締結するとともに、積極的な連携に取り組んでいる。

### 2 会津大学短期大学部

会津大学短期大学部(以下「短大」という。)では、産業、経営、デザイン、情報、環境、健康、栄養、食品、教育、保育、福祉等の専門分野の知識や技術を身に付け、地域貢献ができる職業人の育成に取り組んでいる。

また、優秀な学生の確保に向けた広報活動、産学官民との協働・連携、学生参画型実学・実践教育、派遣講座・公開講座、復興支援のための活動、学生へのきめ細やかな学修相談等に積極的に取り組んでおり、高く評価できる。

令和5年度の業務実績（項目別評価）は以下のとおりである。

	十分に実施	おおむね実施	下回って実施	大幅に下回る
教育研究等の質の向上	○			
教育	○			
研究	○			
国際化	○			
地域貢献・東日本大震災等の復興支援	○			
地域社会との連携・協力	○			
地域産業の振興	○			
復興支援	○			
管理運営の改善及び効率化		○		
業務運営の改善、効率化		○		
財務内容の改善		○		
自己点検・評価等		○		
その他業務運営		○		

## 第2 「項目別評価」

### 1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

#### (1) 教育に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

[令和5年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]

#### (四大)

- ① ○ 優れた学生の確保に向け、試験会場を東京及び京都に設ける等に努めた結果、一般入試の志願倍率が4.5倍となり、目標の5.0倍をおおむね達成できた。
- ② ◎ 女子入学生増加に向けて、在学中の女子学生から協力を得ながら、女性を意識した広報活動に努めるとともに、女子学生向けの返還不要の奨励金を設ける等の取組の結果、入学者に対する女子学生の割合が15.1%となり、目標である12%を大幅に上回って達成した。
- ③ ○ 学部・修士一貫型プログラムの活用や教員による広報活動等の各種取組の結果、大学院博士前期課程の定員充足率は79.2%となり、目標である80%をおおむね達成した。
- ④ ○ 工学教育の質を保証するJABEE（一般社団法人日本技術者教育認定機構）から情報専門系学士課程CS（コンピュータ科学）分野の認定基準に適合しているとして、四大の「国際技術者育成プログラム」が認

定された。

- ⑤ ○ 学部3年次への進級要件の一つであるTOEIC®450点以上について、大学全体として英語力強化に取り組みむとともに、面談等の個別の対応を行った。

TOEIC®450点到達状況 1年生 71.6%(目標 60%)  
2年生 91.9%(目標 100%)

- ⑥ ○ 成績不振の学生を出さないよう、早期把握・注意喚起に努め、担当職員による学生や保護者との面談を実施した。
- ⑦ ◎ 「ICTグローバルプログラム全英語コース(全授業を英語で履修)」の知名度が向上し、在籍人数が前年度比23%以上の増加となる131人(留学生63人、日本人学生58人、非正規学生10人)となり、目標である112人を達成した。
- ⑧ ○ 県内企業見学会や県内企業を始めたとした合同企業説明会を開催し、県内企業を周知した。
- ⑨ ○ 国際公募を通じ、優秀な女性教員2人を採用した結果、女性教員の割合が11.8%となり、目標である10%を達成した。

#### (短大)

- ① ◎ 優れた入学者の確保に向け、県内の高校訪問の増加に加え、県外の高校への訪問等を実施した結果、志願倍率が2.2倍となり、目標である2.0倍を達成した。
- ② ○ 学習成果を可視化するため、食物栄養学科ではカリキュラムツリー・マップ(教育目標と授業科目の関係や授業科目相互の関係を示す図表)を整備した。
- ③ ○ 資格取得に関連した演習科目を開講し、資格取得に努めた結果、取得希望者の取得率は下記の表のとおりとなり、目標をおおむね達成した。

産業情報学科	二級建築士試験・木造建築士試験受験資格100% 色彩検定 2級100% 3級95% UC級100%
食物栄養学科	栄養士免許100% フードスペシャリスト資格認定試験受験資格100% NR・サプリメントアドバイザー認定試験受験資格100%
幼児教育・福祉学科	幼稚園教諭二種免許100% 保育士資格100% 社会福祉士受験資格100%

- ④ ◎ 関連企業の情報提供等を通じ、免許資格関連職(栄養士、幼稚園教諭二種免許、保育士)への就職率は目標を達成した。
- 食物栄養学科 実績 100%(目標 100%)  
幼児教育学科 実績 100%(目標 100%)
- ⑤ ◎ 教務厚生委員・ゼミ担当教員・学生相談員が、学生の相談に随時対応し、学生からの相談2,969件に対応した。
- ⑥ ○ 県内の求人情報を集約の上、学生に提供したり、学内で出張ハローワークを月2回の頻度で実施したりする等、学生の就職支援に積極的に取

り組んだ。

- ⑦ ○ 学生寮（一箕寮）の生活環境改善のため、入寮生の意見や現状を確認し、ガス給湯器の交換、浴室・脱衣所の清掃、オーブンレンジの購入等を行った。また、空き部屋を感染症対策の隔離部屋として活用する等、感染拡大防止に努めた。

### （共通）

- ① ○ 合同企業説明会や企業見学会の実施、キャリア教育、進路希望の把握、就職支援員による学生との個別面談、就職支援ツールの試験的導入等、きめ細やかな支援に努めたことにより、高い就職率を維持した。
- |         |    |       |          |
|---------|----|-------|----------|
| 四大（大学院） | 実績 | 100%  | （目標100%） |
| 四大（学部）  | 実績 | 98.6% | （目標100%） |
| 短大      | 実績 | 99.2% | （目標100%） |
- ② ◎ 学生支援として、授業料等の減免を実施したほか、メンタルヘルス支援や会津大学学生生活支援寄附金を活用したプリペイドカードの配布等を行った。

## （2）研究に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

【令和5年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

- ① ○ 四大では、新たに3か国・地域の大学（インドのインド工科大学カンプール校、コロンビアのイセシ大学、チュニジアのカルタゴ大学）と一般協定を結ぶとともに、京都工芸繊維大学等と共同研究を実施した。
- ② ◎ 四大では、国際的な研究発表等に努め、下記の実績を残した。また、知的財産の活用にも力を入れており、知的財産顧問を設置し、大学に帰属する知的財産の維持・管理を行った。
- |            |    |        |            |
|------------|----|--------|------------|
| 主要学術論文採択数  | 実績 | 363件   | （目標300件）   |
| 学術論文被引用件数  | 実績 | 7,455件 | （目標3,000件） |
| 科学研究費新規採択率 | 実績 | 25.6%  | （目標30%）    |
| 特許出願件数     | 実績 | 15件    | （目標12件）    |
- ③ △ 短大では、地域実践研究等を通じて研究成果を地域社会へ還元したが、新型コロナウイルス感染症により研究活動が長期間制限されてきた影響もあり、学会発表件数がコロナ禍前より大幅に減少し、公表された研究活動数が60件となり、目標である100件を達成できなかった。
- ④ ◎ 産学官連携を積極的に推進し、外部資金獲得に努め、下記のとおり目標を大幅に上回った。
- |            |    |       |           |
|------------|----|-------|-----------|
| 公募型研究費獲得件数 | 実績 | 167件  | （目標120件）  |
| 外部資金獲得額    | 実績 | 4.6億円 | （目標2.5億円） |
- ⑤ ○ 皇族も御臨席した天文学に関する国際会議について、日本学術会議等と共同して、福島県郡山市での開催に尽力した。
- ⑥ ◎ F-REIと協力連携に関する基本合意書を締結するとともに、ロボット開発環境と人材育成に向けた受託研究事業を開始した。

**(3) 国際化に関する目標を達成するための措置**

**【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。**

**[令和5年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]**

- ① ○ 海外の大学等との交流協定について、米国、中国、インド、ヨーロッパ等の22の国・地域にある67校との協定を結んでおり、学生の海外研修、派遣等を実施した。交流協定に基づく具体的な取組として、共同研究の実施やデュアルディグリープログラム（会津大学と海外協定校の両方の修士課程で1年ずつ学び、修了時に2つの修士号を取得するプログラム）の推進、研究者及び学生の交流等を積極的に実施した。
- ② ○ 国際会議等に対する経費助成を3件実施した。
- ③ ◎ 196人の留学生を受入れ、外国人留学生の割合が14.3%となり、目標である10%を達成した。
- ④ ○ 日本学生支援機構や企業による経済支援活用等に努めたことで、日本人の留学・インターンシップ経験者が52名となり、目標の50人を達成した。
- ⑤ ◎ クラウドファンディングを活用し、留学生等が、浜通りにおける東日本大震災の復興活動を学ぶプログラムを実施した。

**2 地域貢献・東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置**

**【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。**

**(1) 地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置**

**【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。**

**[令和5年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]**

- ① ◎ 教員派遣講座や学生企画を含む公開講座を下記のとおり実施し、法人が持つ知的資源を地域社会へ還元した。

	公開講座	教員派遣講座
四大	18件	34件
短大	6件	174件

- ② ○ 四大では、県内の中学校・高校に教員を派遣し、延べ46校に出前講義を実施する等、英語や理数系科目の学力向上等に努めた。そのうち、会津学鳳高校との高大連携事業においては、スポット講義を4回実施した。
- ③ △ 「パソコン甲子園2023」を開催し、全国から1,502人の高校生等が参加した。中高生向けのプログラミング講座等を実施し、参加者の掘り起こしと参加者のスキルアップを図ったが、目標である参加者2,000人は達成できなかった。
- ④ ○ 高校生向けの「コンピュータサイエンスサマーキャンプ会津大学

2023」の開催を支援し、定員40人に対して72人の応募があった。参加者のモチベーションも高く、ICTに興味のある高校生の掘り起こしに貢献した。

- ⑤ ◎ 四大では、県立医科大学との共同研究を2件、民間企業等との医療・保健分野における共同研究等を8件実施するとともに、メディカルクリエーションふくしまにおいて、インテリジェント浴槽システム開発の技術展示を行った。
- ⑥ ◎ アカデミア・コンソーシアムふくしま（福島県内の高等教育機関等の連合体）が実施する大学発イノベーション・ベンチャー創出事業に応募し、2件が採択され、課題解決に向けた研究に取り組んだ。
- ⑦ ◎ 四大では、「スマートシティ会津若松」の推進に関する基本協定に基づき、複数プロジェクト（12分野）に取り組んだ。また、郡山市・白河市・いわき市・福島県等との連携に取り組み、県内自治体のDX化を支援した。
- ⑧ ◎ 県内の高校（3校延べ147人が参加）において、eスポーツの基礎となるロボットシミュレーターやプログラミングの基礎を学べる講座を実施し、IT人材の育成に貢献した。
- ⑨ ◎ 短大では、学生参画型実学・実践教育を33件実施し、短大教員が有する知見と学生が持つアイデアを、企業等に対して提供した。
- ⑩ ◎ 短大では、地方自治体や企業等からの委託事業を積極的に受け入れ、地域との連携・協働事業を48件実施し、目標である20件を達成した。

## (2) 地域産業の振興に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

【令和5年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

- ① ◎ 四大では、ICT活用やデジタル社会の進展に寄与することを目的に、会津IT秋フォーラムを開催した（現地参加者延べ100人、累計視聴数5,200回）。
- ② ◎ 県内中小企業等のDX化を支援するため、学生が県内中小企業5社を訪問して課題等を調査・分析し、それぞれに適した課題解決の提案を行った。
- ③ ◎ 技術相談や意見交換を行う「会津オープンイノベーション会議（通称AOI会議）」を335回開催し、6件の事業化につなげる等、産業振興と地域課題解決に貢献した。

## (3) 復興支援に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：年度計画を十分に実施できている」と認められる。

【令和5年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

- ① ◎ 四大では、「会津大学ロボットテストフィールド研究センター」（南相馬市における福島ロボットテストフィールド内）を中心に、浜通りの高校生等へロボット・ICT教育を実施し、延べ535人が参加した。
- ② ○ 地元企業等との共同研究や、南相馬ロボット産業協議会の特別会員に

加入するとともに、ロボット開発研究会に参加して助言を行う等、被災地域の産業振興を推進した。

- ③ ◎ 四大では、「女性のためのITキャリアアップ塾」を開催し、定員を超える110人に対してプログラミング等の学習機会を提供し、57人の就労に貢献した。
- ④ ○ 四大では、福島県警察本部のサイバー犯罪対策アドバイザーとしてサイバー犯罪防止に努めるとともに、民間企業と連携してサイバー攻撃対策演習講座を開催し、人材育成にも取り組んだ。
- ⑤ ○ 短大では、大熊町との連携協定に基づき、義務教育学校「学び舎ゆめの森」へ講師派遣を2件実施した。
- ⑥ ○ 短大では、被災市町村及び帰還住民を対象とした復興支援に関する地域連携活動を3件実施した。

### 3 管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

**【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。**

#### (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

**【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。**

**【令和5年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】**

- ① ○ 法人職員を2人採用し、法人職員割合が47.1%となり目標の45%を達成した。また、国際公募等により7人（うち3人が外国人、2人が女性）の教員を採用した。
- ② ○ 総務及び経理関連の事務手続きの電子申請を開始し、事務処理の効率化を図った。

#### (2) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

**【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。**

**【令和5年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】**

- ① △ 産学イノベーションセンターの大規模改修工事に伴い、10月以降は貸出ししていない状況であったが、産学イノベーションセンター及び先端ICTラボの使用料収入は2,805万円となり、目標は達成できなかった。
- ② ○ 各種イベントに参加して技術展示・説明を行うとともに、技術移転機関（Technology Licensing Organization）との連携を継続し、知的財産の活用促進を図った。
- ③ ◎ 四大では、「会津大学生生活支援寄附金」を活用し、学食・売店で利用できるプリペイドカードを支給し、学生への経済的支援を実施した。また、過去6年間で最大となる奨学寄附金（20件、合計3,583万円）を受け入れ、学生支援及び教員の研究支援を実施した。
- ④ ○ 短大では、奨学金の活用方法を積極的に周知して広く寄附を募るとともに、12人の学生に奨学金を支給した。

**(3) 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置**

**【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。**

**[令和5年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]**

- ① ○ 「SLIMの月面着陸成功」等の優れた研究成果や、教員及び学生の表彰受賞、産学連携、公開講座等を大学ウェブサイトや各種媒体を通じて積極的に情報発信した。また、英語のページについても積極的に更新し、国内外へ広く情報を発信した。

**(4) その他業務運営に関する目標を達成するための措置**

**【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。**

**[令和5年度で特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]**

- ① ○ 人事評価を活用し定期的な面談（年5回）を実施したほか、職員面談を適時に行い、心身不調等の早期発見やその後のフォローに努めた。また、動画視聴形式によるメンタルヘルス研修を実施した。
- ② ◎ ネットワークシステムの更新を行い、通信レスポンスの改善を行った。また、教育・研究で利用しているネットワーク構成を見直し、ネットワーク利用の適正化等に取り組んだ。さらに、迷惑メール対策、セキュリティ対策を実施した。
- ③ △ 四大では、日数の拡大や看護師面談のオンライン化、事前予約システムの活用等による対策を講じたものの感染症の影響により、学生の健康診断受診率は82.4%となり、コロナ禍前の水準まで回復させることができなかった。なお、短大の学生健康診断受診率は100%となり、目標を達成した。

## 2 項目別評価 総括表

公立大学法人会津大学

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価				
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項			
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	35	B	66	C	3	D	0	I			
		年度	A	31	B	71	C	2	D	0				
		中期	A	22	B	46	C	2	D	0				
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
			A	11	B	15	C	1	D	0				
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
			A	2	B	5	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
		年度	A	23	B	46	C	1	D	0				
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
			A	7	B	19	C	1	D	0				
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
			A	1	B	6	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											

1	教育に関する目標を達成するための措置	中期	A	23	B	56	C	1	D	0	I		
		年度	A	19	B	61	C	0	D	0			
		中期	A	12	B	39	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	11	B	14	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	3	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	12	B	40	C	0	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	7	B	18	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	3	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

1	(1)	入学者受 入方針及 び入試制 度に関する 目標を達 成するた めの措 置	中期	A	7	B	13	C	0	D	0	II	【会津大学】 一般選抜の志願倍率は、 目標の5.0倍をおおむね達 成しているが、少子化等 の影響もあるため継続努 力が必要。  【会津大学短期大学部】 一般選抜の志願倍率は、 目標の2.0倍を達成した。		
			年度	A	5	B	15	C	0	D	0				
			中期	A	3	B	11	C	0	D	0				
				(四大) 学士課程における入学者選抜方法の改善、志願者確保のための広報活動、大学院課程 における留学生や進学者の確保などについて、計画どおり実施した。											
				A	4	B	2	C	0	D	0				
				(短大) 入学者確保のため、高校訪問、進学説明会、メディアを用いた広報活動を継続し、志 願倍率2.0倍以上を維持するなど、計画どおり実施した。											
			年度	A	3	B	11	C	0	D	0				
				(四大) 大学が求める入学者確保のため、積極的な高校訪問などの取組を計画どおり実施し た。一般入試の志願倍率、入学者に対する女子学生の割合ともに、目標を達成するこ とができた。											
				A	2	B	4	C	0	D	0				
				(短大) 大学が求める入学者確保のため、入学者受入方針の周知、積極的な高校訪問、受験者 アンケートを踏まえた広報改善などの取組を計画どおり実施した。											
I	【会津大学】 入学者に対する女子学生 の割合が15%となり、目 標を十分に達成した。  【会津大学短期大学部】 志願倍率が2.2倍となり、 目標の2.0倍を達成した。														

(2) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	中期	A	11	B	21	C	1	D	0	I 【会津大学】 留年制度を導入し、教員と修学支援室が連携して学生への早期支援を行っている。  【会津大学短期大学部】 免許・資格取得率向上のため、外部講師の招聘等に取り組んでいる。		
	年度	A	10	B	23	C	0	D	0			
	中期	A	7	B	16	C	1	D	0			
		(四大) 大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証や、シラバスの英語化などに取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。										
		A	4	B	5	C	0	D	0			
		(短大) 大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証などに取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。										
	年度	A	7	B	17	C	0	D	0			
		(四大) 大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証や、4学期制の継続、シラバスの英語化などの取組を計画どおり実施した。ICTグローバルプログラム全英語コースの在籍数、英語による授業科目数などは目標値を上回る実績となった。										
		A	3	B	6	C	0	D	0			
		(短大) 大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証などの取組を計画どおり実施した。免許・資格取得希望者の取得率及び資格等取得者の資格関連職への就職率はほぼ計画どおりの実績となった。										
I 【会津大学】 JABEE(第三者機関による教育プログラム認証)から国際技術者育成プログラムの認証を取得した。  【会津大学短期大学部】 食物栄養学科ではカリキュラムツリー・マップを整備した。												

(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	9	C	0	D	0	I	【四大・短大共通】 ネットワークシステム等の更新・改善を計画的に実施した。		
		年度	A	2	B	9	C	0	D	0				
		中期	A	1	B	4	C	0	D	0				
			(四大) 施設や機器の整備、教員研修の実施、教員の国際公募による採用に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。											
			A	1	B	2	C	0	D	0				
			(短大) ネットワークシステムや実習機器の更新整備に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 施設・設備の計画的な修繕や維持管理、教員の募集・採用に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。											
		年度	A	1	B	4	C	0	D	0				
			(四大) 施設や機器の環境整備、教員研修、教員の国際公募による採用などの取組を計画どおり実施した。外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合及び女性教員数はほぼ計画どおりの実績となった。											
			A	1	B	2	C	0	D	0				
			(短大) 今年度更新したネットワークシステム及び導入を一年延期していた学務システムについて、安定的に運用することができた。また、実習機器の更新整備などの取組を計画どおり実施した。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 施設・設備の計画的な修繕や維持管理、教員の募集・採用などの取組を年度計画どおりに実施した。											
											I	【会津大学】 国際公募により女性教員2名を採用し、女性教員の割合が11.8%となった。  【会津大学短期大学部】 外部講師を招き、「教育の質保証」をテーマに教員研修会を開催した。		

(4) 学生への支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	3	B	13	C	0	D	0	I 【四大・短大共通】 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、給付金支給や外部からの寄附食料の速やかな配布、オンラインへの対応等に努めた。	
	年度	A	2	B	14	C	0	D	0		
	中期	A	1	B	8	C	0	D	0		
		(四大) 学生支援に関する方針の検討、全学生への担当教員の配置、就職支援等に取り組むことにより、概ね計画どおり達成できた。									
		A	2	B	5	C	0	D	0		
		(短大) 学生支援に関する方針の検討、就職支援、寮の運営改善等に取り組むことにより、概ね計画どおり達成できた。									
	年度	A	1	B	8	C	0	D	0		
		(四大) 学生支援に関する方針の検討、全学生への担当教員の配置、就職支援などの取組を計画どおり実施した。創明寮においては、新型コロナウイルス感染症が5類になったことを受け、留学生と日本人学生の相互交流の場を提供することができた。									
		A	1	B	6	C	0	D	0		
		(短大) 学生支援に関する方針の検討、就職支援、寮の運営改善などの取組を計画どおり実施した。学生相談室を新設し、学生の相談に適切に対応できる環境を整えた。									
I 【会津大学】 県内企業見学会や県内企業を含めた合同企業説明会を開催し、県内企業を周知した。  【会津大学短期大学部】 学生相談を2,969件実施した。											

2	研究に関する目標を達成するための措置	中期	A	8	B	9	C	2	D	0	I		
		年度	A	7	B	10	C	2	D	0			
		中期	A	6	B	6	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	1	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	2	B	2	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	6	B	6	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	1	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	1	B	3	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	中期	A	7	B	7	C	2	D	0	I	<p>【会津大学】 研究力強化のため、講座制を廃止し、クラスターモデルを導入した。また、学術論文被引用件数、外部資金獲得額、特許出願件数は目標を大きく上回っている。</p> <p>【会津大学短期大学部】 コロナ禍以前は、公表された研究活動数が目標の100件を達成していたが、人的交流の制限の影響を受け、低迷している。</p>		
		年度	A	7	B	7	C	2	D	0				
		中期	A	6	B	6	C	1	D	0				
			(四大) 研究科、学部各部門、各センターや学内横断的な研究に取り組むことで、計画どおり達成できた。											
			A	0	B	1	C	1	D	0				
			(短大) 基礎的研究、応用的研究、地域実践研究を行い、その成果の公表に取り組むことで、計画どおり達成できた。											
			A	1	B	0	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 外部資金獲得に取り組むことで、計画どおり達成できた。											
		年度	A	6	B	6	C	1	D	0				
			(四大) 研究科、学部各部門、各センターにおいて年度計画どおり研究に取り組み、主要学術論文採択数、学術論文引用件数等で目標を上回った。											
			A	0	B	1	C	1	D	0				
			(短大) 基礎的研究、応用的研究、地域実践研究を行い、その成果を公表する取組などを年度計画どおり実施したが、研究活動数は目標値には達しなかった。											
			A	1	B	0	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 外部資金獲得の取組を年度計画どおり実施し、外部資金の獲得件数及び獲得額は目標を大きく上回った。											
I											<p>【会津大学】 学術論文被引用件数が7,455件となり、目標の3,000件を大幅に上回る実績となった。</p> <p>【会津大学短期大学部】 公表された研究活動数が60件となり、目標の100件を達成できなかった。</p>			

(2)	研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	2	C	0	D	0	II	
		年度	A	0	B	3	C	0	D	0		
		中期	A	1	B	2	C	0	D	0	II	
			(四大・短大共通) 研究に必要な施設・設備の適切な維持管理、学内研究費の効果的な見直し、研究費適正執行等に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	0	B	3	C	0	D	0	II			
	(四大・短大共通) 研究に必要な施設・設備の適切な維持管理、学内研究費の効果的な見直し、研究費適正執行に関する取組を年度計画どおりに実施した。											
3	国際化に関する目標を達成するための措置	中期	A	4	B	1	C	0	D	0	I	
		年度	A	5	B	0	C	0	D	0		
		中期	A	4	B	1	C	0	D	0	I	
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	5	B	0	C	0	D	0	I			
	(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。全学生数に対する外国人留学生数の割合は目標値を大きく上回る実績となった。											

第2	地域貢献・東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	19	B	9	C	1	D	0	I		
		年度	A	19	B	8	C	1	D	1			
		中期	A	16	B	6	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	3	B	2	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	16	B	5	C	1	D	1			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	3	B	2	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

1	地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	中期	A	9	B	6	C	1	D	0	I		
		年度	A	10	B	5	C	1	D	0			
		中期	A	6	B	5	C	1	D	0			
			(四大) 公開講座、先端ICT人材育成、協定締結自治体や県立医科大学との連携した取組、ロボット事業等を継続することで、計画どおり達成できた。										
			A	3	B	0	C	0	D	0			
			(短大) 一般市民向けの公開講座、地域活性化センターを中心とした地域との協働・連携などの取組等を継続することで、計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
		(四大・短大共通) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、施設等の外部貸出に取り組み、計画どおり達成できた。											
		年度	A	7	B	4	C	1	D	0			
			(四大) 一般市民向けの公開講座、先端ICT人材育成、協定締結自治体や県立医科大学との連携した取組などを年度計画どおり実施した。ロボット事業における浜通りの高校生への人材育成やAOI会議の県内への展開は計画を上回って実施できた。										
			A	3	B	0	C	0	D	0			
			(短大) 一般市民向けの公開講座、地域活性化センターを中心とした地域との協働・連携などの取組を年度計画どおり実施し、派遣講座数は目標値を上回った。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
		(四大・短大共通) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、2023年5月以降は貸出を再開することで、利用件数・使用料収入とも前年度を上回ったが、感染症拡大前の水準までは回復していない。											

2	地域産業の振興に関する目標を達成するための措置	中期	A	5	B	0	C	0	D	0	I	
		年度	A	4	B	0	C	0	D	1		
		中期	A	5	B	0	C	0	D	0		
			(四大) 「女性のためのITキャリアアップ塾」を通じた県内就労支援、地域企業との積極的連携、AOI会議の全県的展開などに取り組むことで、計画どおり達成できた。									
3	復興支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	5	B	3	C	0	D	0	I	
		年度	A	5	B	3	C	0	D	0		
		中期	A	5	B	1	C	0	D	0		
			(四大) AOI会議の積極的な開催、県立医大や県警本部と連携した取組、ロボット人材育成などの取組等を継続することで、計画どおり達成できた。									
3	復興支援に関する目標を達成するための措置	年度	A	5	B	1	C	0	D	0	I	
		年度	(四大) AOI会議の積極的な開催、県立医大や県警本部と連携した取組、ロボット人材育成などの取組を計画どおり実施した。AOI会議の開催回数は目標値を上回る実績となった。									
			A	0	B	2	C	0	D	0		
		(短大) 「学び舎ゆめの森（旧 大熊町立小・中学校）」への支援、地域との協働連携の取組等を、計画どおり実施した。										

第3	管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	4	B	39	C	3	D	0	II		
		年度	A	4	B	41	C	1	D	0			
		中期	A	2	B	3	C	2	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	4	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	2	B	32	C	1	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	1	B	5	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	1	B	3	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	2	B	33	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	8	C	0	D	0	II	/
		年度	A	1	B	9	C	0	D	0		
		中期	A	2	B	8	C	0	D	0		
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	1	B	9	C	0	D	0	II			
	(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	7	C	0	D	0	II	県派遣職員から法人職員への切替を計画的に実施し、法人職員の割合を47.1%にした。
		年度	A	1	B	7	C	0	D	0		
		中期	A	1	B	7	C	0	D	0		
			(四大・短大共通) 教職員の行動規範の周知徹底、職員採用方針による採用活動、職員研修等に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	1	B	7	C	0	D	0	II			
	(四大・短大共通) 教職員の行動規範の周知徹底、職員採用方針による採用活動、職員研修等の取組を計画どおり実施した。											
(2)	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	1	C	0	D	0	I	コピー用紙の購入量を削減し、目標の平均5%減を達成した。
		年度	A	0	B	2	C	0	D	0		
		中期	A	1	B	1	C	0	D	0		
			(四大・短大共通) ペーパーレス会議やコピー用紙購入量の削減に取り組み、さらにワークフローシステムを導入するなど、計画どおり達成できた。									
年度	A	0	B	2	C	0	D	0	II			
	(四大・短大共通) ワークフローシステムを導入して、総務及び経理関連の事務手続きの電子申請を開始し、事務処理の効率化を図り、計画どおり実施した。											

2	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	8	C	1	D	0	II		
		年度	A	0	B	8	C	1	D	0			
		中期	A	0	B	0	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	7	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	0	B	0	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	7	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

(1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	4	C	1	D	0	II	【四大・短大共通】 「会津大学学生生活支援基金」を設置し、寄附金の募集を開始した。また、この基金を活用し、コロナ禍における学生支援のため、現金やプリペイドカードの支給等を実施した。		
		年度	A	0	B	4	C	1	D	0				
		中期	A	0	B	0	C	1	D	0				
			(四大) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、施設等の外部貸出に取り組み、概ね計画どおり達成できた。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
			(短大) 寄附金確保のための取組等に継続して取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
		(四大・短大共通) 保有する技術の発信のためのシーズ集作成や学生支援のための寄付金受入に継続して取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。												
		年度	A	0	B	0	C	1	D	0				
			(四大) 施設使用料の収入について、LiCTIA等では概ね年度計画どおり実施することができた。その他の施設については、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、2023年5月以降は貸出を再開することで、利用件数・使用料収入とも前年度を上回った。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
			(短大) 寄附金確保のための取組を計画どおり実施し、学生表彰規定に基づき奨学金を支給した。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
		(四大・短大共通) 保有する技術の発信のためのイベントに参加し、技術展示や説明等を行った。また、学生支援のための寄付金受入の取組を計画どおり実施した。												
II										【会津大学】 奨学寄付金を3,583万円受入れ、学生支援及び研究支援を実施した。				
II										【会津大学短期大学部】 紅翔奨学金の寄附金を広く募るとともに、12人の学生に奨学金を支給した。				

(2)	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	4	C	0	D	0	II	毎年度、財務レポートを作成し、ホームページで公表した。
		年度	A	0	B	4	C	0	D	0		
		中期	A	0	B	4	C	0	D	0		
			(四大・短大共通) 財務状況分析や法人会計制度の研修、財務会計システムの評価等を継続することにより、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	0	B	4	C	0	D	0				
	(四大・短大共通) 財務状況分析や法人会計制度の研修など、計画どおり実施した。各種研修会・勉強会など職員の資質向上の機会を多数設け、職員の資質向上を図った。											
3	自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	1	D	0	II	/
		年度	A	0	B	7	C	0	D	0		
		中期	A	0	B	6	C	1	D	0		
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	0	B	7	C	0	D	0				
	(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
(1)	評価の充実にに関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	4	C	1	D	0	II	教員の業務評価結果の反映方法構築について、中期計画を達成することができなかった。
		年度	A	0	B	5	C	0	D	0		
		中期	A	0	B	4	C	1	D	0		
			(四大・短大共通) 法人の自己点検評価等の取組や事務職員の人事評価の継続した運用、教員業績評価の見直しを進めることにより、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	0	B	5	C	0	D	0				
	(四大・短大共通) 法人の自己点検評価等の取組や事務職員等の人事評価を県の制度を準用して適切に運用した。											

(2)	情報発信の推進に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	教育・研究成果、学生・教職員の受賞状況、産学連携、地域貢献等について、積極的に情報発信した。	
		年度	A	0	B	2	C	0	D	0			
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 引き続き適切な情報公開に努め、大学の活動を積極的に発信することにより、概ね計画どおり達成できた。										
4	その他業務運営に関する目標を達成するための措置	年度	A	0	B	2	C	0	D	0	II	「SLIMの月面着陸」等の研究活動成果等をホームページに掲載した。	
		中期	(四大・短大共通) 適切な情報公開、大学の幅広い活動の情報発信を、計画どおり実施した。										
			A	2	B	17	C	1	D	0			
		年度	A	3	B	17	C	0	D	0			
4	その他業務運営に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	3	C	1	D	0	II		
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	11	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	1	B	5	C	0	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	1	B	2	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	1	B	10	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

(1)	法令遵守に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	3	C	0	D	0	II	法令遵守やハラスメント防止について、継続して取り組む必要がある。	
		年度	A	1	B	2	C	0	D	0			
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 法令遵守等に関する研修を開催し、教職員の理解の向上を図ること等により、概ね計画どおり達成できた。										
(2)	施設設備や情報通信基盤の整備活用等に関する目標を達成するための措置	年度	A	1	B	2	C	0	D	0	II		
		中期	A	2	B	6	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 研修会の実施だけでなく、年度初めの部局長会議等、機会を捉えて行動規範の周知・徹底を指示したほか、適宜コンプライアンス徹底の注意喚起を図り、計画どおり実施した。										
		中期	A	2	B	2	C	0	D	0			
(四大) 情報セキュリティ対策や付属図書館の利用環境整備に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。													
(2)	施設設備や情報通信基盤の整備活用等に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	【四大・短大共通】 図書館のICタグ導入に向け、計画的に準備を進めている。	
			(短大) セキュリティ・インシデントの注意喚起や図書館の狭隘化対策に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。										
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 施設修繕計画に基づいた施設整備を進めることにより、計画どおり達成できた。										

			A	1	B	3	C	0	D	0				
			(四大) セキュリティ対策や附属図書館の利用環境整備に取り組み、計画どおり実施した。										II	【会津大学】 ネットワークシステムの更新や迷惑メール対策等を実施した。  【会津大学短期大学部】 学生寮(一箕寮)の生活環境改善のため、床下換気扇の調整等を行った。
	年度		A	0	B	2	C	0	D	0				
			(短大) セキュリティ・インシデントの注意喚起や図書館の狭隘化対策の取組を計画どおり実施した。											
			A	0	B	2	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 施設修繕計画に基づいた施設整備や短大学生寮の生活環境の維持・改善の取り組みを計画どおり実施した。											
(3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	1	D	0		II	【会津大学】 学生の健康診断受診率向上に努めたが、コロナ禍以前の水準までは回復できなかった。  【会津大学短期大学部】 学生及び教職員の健康診断受診率は100%となった。	
		年度	A	1	B	6	C	0	D	0				
			A	0	B	1	C	1	D	0				
			(四大) 教職員及び学生の健康診断受診の呼びかけ等を行い、未受診者の減少に努めることで、概ね計画どおり達成できた。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
		中期	(短大) 教職員及び学生の健康診断受診の呼びかけ等を行い、未受診者の減少に努めることで、概ね計画どおり達成できた。											
	A	0	B	4	C	0	D	0						
		(四大・短大共通) メンタルヘルスチェックや、施設・設備の巡回・点検を行うことで、概ね計画どおり達成できた。												

			A	0	B	2	C	0	D	0	II	<p>【会津大学】 学生の健康診断受診率向上の取組みに努めた が、82.4%となった。</p> <p>【会津大学短期大学部】 学生及び教職員の健康 診断受診率は100%と なった。</p>
		年度	<p>(四大) 教職員及び四大学生の健康診断受診率を高める取組をほぼ計画どおり実施したが、教職員の再検査受診率は低い結果であった。</p>									
			A	1	B	0	C	0	D	0		
		年度	<p>(短大) 学生の健康診断受診率を高める取組を実施し、学生受診率100%を達成することができた。</p>									
			A	0	B	4	C	0	D	0		
			<p>(四大・短大共通) 教職員のメンタルヘルスチェックを行い、職員の心のケアに取り組むとともに、防災・防犯設備の法定点検や施設・設備の巡回・点検を行うことで、安全管理体制を維持した。</p>									
(4)	新型感染症を始めとする重大なリスクに対する措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	<p>新型コロナウイルス感染症について、教職員・学生へ感染防止対策等の注意喚起を実施した。</p>
		年度	A	0	B	2	C	0	D	0		
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0		
			<p>(四大・短大共通) 新型コロナウイルス感染症や本学が被る重大なリスクについて、必要に応じた適切な対策を講じており、計画どおり達成できた。</p>									
		年度	A	0	B	2	C	0	D	0	II	
<p>(四大・短大共通) 2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、これまでの感染症対策を緩和したが、引き続き情報収集と注意喚起を行うことで、計画どおり実施した。</p>												